

波紋

1995 9 月 第123号

「上海視察」(7/16~7/21)

市場経済の発展で急速に変化している国、「中国」。という話だけで、実感のないまま4月と7月に上海を訪れましたが、聞くと見るでは大違い。上海は都会であるとは聞いてたが、これ程までに大都会化しているとは。さらに至る所で高層ビルの建築が行われており半年、1年のレベルでどんどん風景が変わっていくだろう事が誰にでも予想できます。そして、人が多い。自転車が多い。何処にこれだけの人が住んでいるだろうと思うくらい多い。そして、これだけの人がみんな職に就いているとも思えない。それは、治安の悪さにもつながっているだろう。ともあれ30年前の日本を無理やり近代化させた様な所だから、バンスがとれない部分が多々あっても当たり前なのかもしれない。そういう意味では、日本が普通とか、日本ではこうしているとかいう考え方はすべて捨てて、中国はこういう所という事を早く掴まないと、不安ばかり先にたってしまうて前にちっとも進めない事になるだろうと強く感じました。

既に一部の人には話しましたが、7月の訪中時に「倪建成」という現地の人を森松の社員として契約いたしました。これは、森社長が6月に中国へ訪問した時に「今後必要になるだろう」と思い、話をつけておいた人で、プラスチックの業界や商品知識に詳しく、貿易の知識もかなり持っているとても優秀な人材です。これで、森松も上海に連絡事務所なる物を持つ国際的な会社になったのかなというとおおげさかもしれませんが、第一歩を踏み出した事は間違いないでしょう。

すでに上海の街は、日本企業の看板とネオンサインでいっぱいです。日本の大学の国際学部は中国からの留学生でいっぱいです。日本企業の日本本社に、日本人よりも外国人社員の割合が多いという時代が来ないとは言えません。世界は既に、自分を向上させていく事の出来る人が必要とされる時代になってます。それは国籍とは関係なく企業や組織を向上させる為不可欠だからです。皆さん、いつまでも名古屋のビニール屋の森松ではありませんよ。これからは、国際企業「森松」で世界に羽ばたく人間になりましょう。

牧野 光昌

元氣メール(電子メール)

パソコンの家庭での普及率は94年で16・6%、夏休み中にパソコンを習得しようという人が増えている。会社内では10月1日、森松(株)39期期首より電子メール(パソコン通信)を導入します。常務、牧野部長を中心に準備を進めて参り、仕入先のメーカーで既に電子メールを始め、強いている会社の方に指導していただき、勉強している様子です。又、既にノート型パソコン・ザウルス等を自費で買い求め、パソコン通信を楽しんでいる社員も3人程います。

ホー・レン・ソー、報告/連絡/相談が話題になってからもう10年、MCA・自動車無線を導入したのが7年前、パソコンが使われ出したのも結構早い時だったと思います。商売の基本である「情報の共有化&スピード」をスローガンに今日まで経営してきましたが、今回の電子メール導入は、全員が経営に参加・企画する点において革命的な事だと思えます。森松グループの独自性を発揮し、他社との差別化を計り、さらに国際化も推進して行けるという、素晴らしい革命です。電子メールを確立させる事によって、森松の将来が大きく飛躍するチャンスがやってくるかと確信しております。

森松マンのチャレンジ精神に期待しています。

森 信之

トシ君の一方通行

「モーリン語録追加」

社員の評判はいまいちであるが、他社の人の多くの人に評判が良いのは「モーリン語録」。その語録に追録があるとすれば、「受信は発信に比例する」「選択と集中」。特に前者は個人的に大いに気に入っています。どういう事かというところ、この激変の時代には人・物・金、そして情報という武器が加わった訳です。その情報の質と量を極めて多く受信つまり分かりやすく申し上げますと、それだけ情報量を与えている。つまり発信しているという意味ですから、情報が入らない人は情報を持っていないという事でありませぬ。この説明で90点。満点の解答は上記にプラスします。それは、「お利口さんは馬鹿を相手にしない」……これを付け加えますと満点の答えであります。この言葉を是非付け加えたいと思います。

しかし残念ながら現在のモーリン語録でさえ理解出来ない社員が多い中、追録版を作ってみたところで腹がたつだけですので、良心的な愛読者の方々のみお教えする次第でございます。まず社員の皆さんは情報を持つている人に相手にされる雰囲気を持つておられます。部下が出来る仕事は部下に譲り、譲られた部下は確実にこなし「報告」する。といつても、肝心の上司が報告下手だから……。情報社会なんて高級な事言いました。反省しております。報告すら出来ないのに……。

さて、9月は決算です。予算達成しましたが、もう過去の事です。今期はもう始まっておりませぬ。相変わらず報告下手な幹部と予算達成します。それで達成出来るんだからよっぽど低い予算なんですよな。

木村 英利

森松クインテット

「読み書きパソコン」

昔は「読み書きソロバン」と言われたように、これからは「読み書きパソコン」が必須条件となつてきます。事務部門においては、ほとんどの人がパソコンを仕事上で使っていますが、製造部門では、一部の人を除いて余り使う機会が無いかも分かりませぬ。しかし、これから新しく導入される機械はパソコン制御となり、機械を動かす為にはパソコン操作が必要となつてくるでしょう。その時の為には、今から慣れておく必要があります。

また、10月1日より電子メールの導入が決まっています。そうなると、パソコンを操作できない人は、どんどん置いていかれます。そうならない為に、早くキー操作に慣れてもらうよう、読書感想文等はワープロで打って提出するようになっていっているんです。

ワープロに慣れていない人、ワープロを打つたことがない人は大変でしょうが、頑張つて下さい。最初は皆そうだったんです。会社にはパソコンが何台もありますから、何時でも練習はできます。分からないことは、ベテランの人が親切に教えてくれると思います。必要なら、ワープロ教室も開きます。環境は整っていますので、全員がワープロができるように頑張りますよ。

稲葉 友昭

喜怒哀楽

「夏の思い出」

8月の夏期休暇、何年か振りの花火見物に近くの公園まで1人で出掛けました。花火の打ち上げは19時過ぎからという事で、それまでの間に近くのスーパーに買い出しです。買物もこの頃は慣れたもので、自分の買いたい物が置いてあるコーナーへ次から次へと歩き、品定めしながら(安くて新鮮なもの)カゴの中へ。もちろん、ビールとつまみの材料etc.:

早速タマゴ焼、ワインナー焼、枝豆、オニギリ等々、簡単に早く出来る好きな物を、汗だくになりながら、段取り良く一つずつ料理していく。準備OKで時間も待たずに、16時過ぎには会場へ。屋台が道路狭しと並び、沢山の人がすでに場所をとり、花火打ち上げまでの時間をそれぞれ、カキ氷、イカ焼:etc.を食べながら過ごしている様子。

人をかき分け、私も早速場所を確保し、とりあえず安心で、ビール片手につまみ取りながら空を見上げるうちに、いつの間にか夕闇もせまり、そのうち「ドカーン」と大きな音と共に、一発目のスターマインが夜空に打ち上げられました。まわりの大歓声でスタートした花火大会は、いつの間にか天体ショーと化した次から次に打ち上げられる花火に、まるで夢を見ているようで、ふと童心に返ったように、素直に喜びの声を上げていた私でした。

心地良い夏の夜風に、ビールも料理も花火も今夜は最高!長い夏休みの短い夜の天体ショー。よし、来年はきつと2人で来るぞ、と心に誓いながら、会場を後にする私でした。

田井村 俊秋

暮らしのエッセイ 「夏の休日」

今年も7月の下旬に梅雨が明けて以来、昨年同様に例年になく猛暑が続いています。

私は夏という季節が好きで、夏になるとよく海に出掛けます。その海で4年前からマリッジェットという水上バイクに乗って楽しんでいきます。すごく天気がいい日に水上バイクに乗って海に出ると、とても気持ちがよく気分もスカッとして、とてもリラックスできます。又、昼時になると、時々ですが砂浜でバーベキューもします。晴れ渡った大空の下で、きれいな空気を吸いながらのバーベキューは格段に美味しいです。普段嫌いな食べ物も、砂浜で焼いて食べるとどうしたことか、知らず知らずのうちに食べれてしまいます。皆様もぜひ海に出掛けてバーベキューを試してみませんか？

まだまだこの暑さも続くと思いますので、夏には夏しか楽しむことができないことを目一杯楽しんで、夏が終わった時には今年の夏もよかったなと思えるようにしたいと思います。皆様も体調には十分気を付けて、暑さを乗り切っていきましょう。



鳥羽 幸治



後藤 まさえ
(旧姓 辻中)

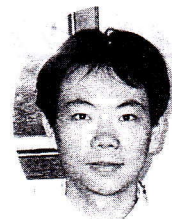
退社挨拶

H4年4月1日森松(株)へ入社。モーリンのサンプル帳を見て、こんなにたくさん種類覚えられるのかな？と不安になった事、よく覚えてます。あれから三年と四ヶ月が過ぎ、H7年7月20日付で退社する事になりました。皆様には大変お世話になり有難うございました。

私の森松での心に残る思い出を一つ紹介します。私は幸運!にも営業一部に配属され、悩みの絶えない日々が続きました。そんな私に上司から「話をしよう」と声を掛けてくれ、結果、悩みは解消されました。その上司は、自分の家族の事をとても幸せそうに話してたので、私が「幸せなんです」と言ったら、「幸せの要素がいくらあっても部下が悩んでいる以上、幸せとは言えない」……この言葉に私は感動しました。短い間で森松で出逢った人の事はもちろん、社会人第一歩の人生を森松で過ごせた事、大変嬉しく思います。

③ 三年と四ヶ月、大変お疲れ様でした。幸せな家庭を築いて下さい。

新入社員紹介



王 焯

私は、中国大陸の奥地・蘭州という街で生まれ、19才までそこで過しました。1986年に日本に生まれて、今年10年目の滞在となります。この度、東京で台湾の女性と国際結婚しました。

森松には、以前から何度も呼んで頂いたこともあり、皆さんのお名前はまだまだ完全に覚えられません。親近感があつて、気楽に付き合っていけると思います。

森松へ来る前には、東京で軽印刷と翻訳の仕事をしていました。10人ぐらいの小さな会社でしたので、森松の仕事とは内容も感覚も違います。これからは、御迷惑をお掛けすることが多くなりますが、厳しく訓練して頂きたいと思います。

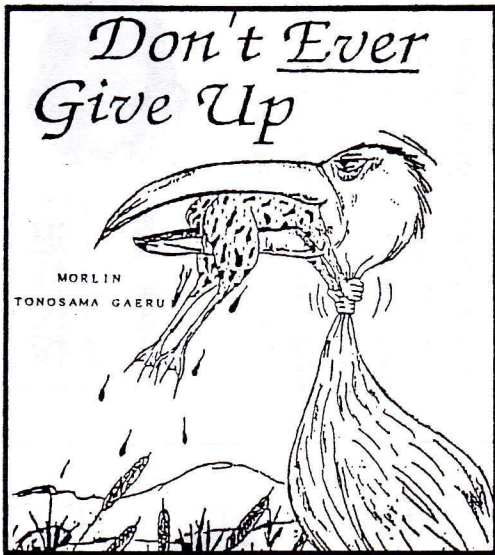
私の所属は海外事業部です。今後、日本の経済状況につれ、森松の対中国・アジア関係の業務もますます増えると思いますので、一杯努力していきたく思います。どうぞ御指導、御鞭撻の程、宜しくお願致します。

平成7年 **9月の社内行事**

1日(金)	宮岸礼子さん誕生日
2日(土)	第一土曜日休み
4日(月)	誕生会 12時 4F
9日(土)	丹後公園アニスコート面 第二土曜日休み
11日(月)	青経塾総会
12日(火)	四川省訪日団来客
13日(水)	王志紅さん誕生日
14日(木)	改善会議 18時
15日(金)	安井課長誕生日 敬老の日
16日(土)	第三土曜日休み
17日(日)	ユニベンチャ―社長
19日(火)	ロス・ヤングス氏来社 PLASCP会 大阪
21日(木)	生産会議 17時40分
23日(土)	横山次長誕生日 秋分の日
25日(月)	経営会議 16時
26日(火)	営業会議 18時 青友会
29日(金)	編集会議 17時50分 丹後球場確保(未定)

第3回 「元気が出る森松展」

見て蛙か 見ないで蛙か…



第3回モーリンググループ新商品の
展示会を下記の日程にて開催します。

会 期 1995年10月12日(木)～13日(金)

A. M. 9 : 00～P. M. 5 : 00

会 場 森松(株)本社ビル 5 F ホール

お世話になっております。今年も元気モリモリの森松展を開催致します。モーリンは、どんな事があっても呆れ蛙程いつまでも締めずに頑張ります。何卒、ご来場下さいます様、お願い申し上げます。

モーリンググループ代表 森 信之

森松展実行委員長 光田 昭男

編集後記

残暑が厳しい中、皆様どの様にお過ごしでしょうか。私は、7日間の夏期休暇に劇場で1本とビデオで2本、計3本の映画を観ました。最近劇場に足を運ぶことが多くなり、今年に入り5本の映画を観ました。ビデオとは違った良さが多くあり、約2時間の充実+その後の感動と興奮を与えてくれる映画のとりこになりました。今までは、あまりビデオを観ることがなかったのですが、これからはあいた時間をビデオ鑑賞にとさらに充実した時間が過せそうです。見逃してしまつた作品はビデオで、これから封切られるものは一本でも多く劇場でという感じで、私の趣味に映画鑑賞とビデオ鑑賞が加わりました。皆さん、ぜひ良い作品を教えてください。

坂柳 夕里

編集発行者

森松株式会社

発行責任者

高橋 武夫

平成7年9月1日

第123号